

大坂ふれあいの森自然セミナーと白子ビオトープ観察会 会報VERDA116号

24年7月8日に、白子大坂ふれあいの森の会およびNPO 法人和光・緑と湧き水の会の共催により、午前は自然セミナーを開催、午後は24年度の和光市との協働事業として「湧き水の町 白子ビオトープ観察会」を開催し、大変好評でした。

午前の部：10:00～11:50 大坂ふれあいの森の自然セミナー（白子宿地域センター）

司会・進行係は高橋勝緒さん、活発な質問や地域のお話あり、有意義なセミナーでした。

講演1（15分）「埼玉県和光市における身近な自然の調査から保全と教育的活用」

日本生態学会第59回全国大会 2012年3月大津にて 口頭発表を再講演（高橋絹世）

講演2（50分）東京学芸大学小泉研佐々木夏来さんから、大坂ふれあいの森を対象地として、卒業研究「関東南部の春植物に関する地生態学的研究」の報告。

白子の昔の様子に詳しい富澤尚氏から、付近の地形が変わった様子などのお話を伺いました。川沿い斜面は、カタクリ群落があり、湧水の自然と歴史のある町として残していきたい所です。

午後の部 13:30～15:30 湧き水の町 白子ビオトープ観察会

白子湧水群の中心の「大坂ふれあいの森」や「富澤湧水」は、緑の斜面林と湧き水があり、多様な生き物が棲む都会のオアシスです。清らかな水の流れのある緑の自然に囲まれた生態系を持つ「ビオトープ」で、生き物探しや、湧き水の湧き出す仕組みを観察しました。また古くから白子の湧き水を活用した石垣湧水道や洗い場跡があり、自然と歴史を訪ねてみました。小学3年生は学校で湧き水の勉強があり、丁寧にメモや写真を撮り観察会が役立ったようです。早速明日クラスで報告するとのこと、壁新聞にまとめるようです。

観察コース---熊野神社の説明---富澤湧水（生き物調べ、地層から湧き水の仕組みを観る、石組み湧水道から湧き水の利用を学ぶ）---大坂ふれあいの森（生き物調べ、地層、斜面林観察）-白子川

生き物調べでは



サワガニの仲良し兄弟



大坂ビオトープにカワモズクが生育



ヘビトンボやヤゴを数匹発見



熊野神社の歴史のお話



地層から湧き水の仕組みを観る



生き物探し



湧き水を使った生活



大坂の地層にある東京軽石層



カワモズク観察

大坂ふれあいの森に、湧き水が湧き出す樹が見つかり、地上に流れる水路をつくりました。長年湧き水の会でカワモズクの生育する環境を調査した経験を活かし、保全してきた結果、カワモズク類の生育に適した、湧き水特有の水路環境が整ってきました。

この環境を守りましょう

主催：白子大坂ふれあいの森の会 共催：NPO 法人 和光・緑と湧き水の会、和光市